

■ Windows版 Outlook(classic)設定手順

○ 概要・説明など

Outlook(classic)を利用して、教育用メール(ns)や研究用メール(sin)のメール送受信を行うための設定手順です。

○ 手順書更新履歴

手順書作成日(第一版)	2019/11/13	作成	大杉	新規作成
	2022/11/16	更新	大杉	2022年新システム対応
	2024/02/06	更新	大杉	submissionの設定について追記
	2025/10/14	更新	大杉	Outlook(classic)対応

目次

■ Windows版 Outlook(classic)設定手順	1	-
○ 概要・説明など	1	-
○ 手順書更新履歴	1	-
【1】Outlookを利用するにあたり	2	-
【2】アカウントの追加手順	3	-
【3】POP/IMAPのメリットと選択について	12	-
【4】アカウントの設定変更手順(submission利用)	13	-

【1】Outlookを利用するにあたり

教育用メール(ns)、研究用メール(sin)共にWEBメールシステムとなっており、以下のURLにアクセスすることで、ネットワークに接続されているコンピュータであれば学内・学外※問わずメールの送受信が出来るシステムとなっています。

教育用メール(ns) : <https://mail.ns.kogakuin.ac.jp/>

研究用メール(sin) : <https://sin.cc.kogakuin.ac.jp>

※一部海外のネットワークではインターネット接続に制限が設けられている場合がありますので渡航前に確認をしてください。

当手順はOutlookを利用して教育用メール(ns)、研究用メール(sin)を送受信するための設定手順となります。

教育用(ns)メールシステム

項目	ホスト名	ポート	備考
IMAPサーバ	mail.ns.kogakuin.ac.jp	993	SSL/TLSを使用
POP3Sサーバ	mail.ns.kogakuin.ac.jp	995	SSL/TLSを使用 パスワード認証あり
SMTPサーバ	mail.ns.kogakuin.ac.jp	25	学内のみ
SMTPSサーバ	mail.ns.kogakuin.ac.jp	465	SSL/TLSを使用 パスワード認証あり
SMTPサーバ submission	mail.ns.kogakuin.ac.jp	587	STARTTLSを使用 パスワード認証あり

※submissionポート(587)を利用したメール送信が可能になりました。

研究用(sin)メールシステム

項目	ホスト名	ポート	備考
IMAPサーバ	sin.cc.kogakuin.ac.jp	993	SSL/TLSを使用
POP3Sサーバ	sin.cc.kogakuin.ac.jp	995	SSL/TLSを使用 パスワード認証あり
SMTPサーバ	sin.cc.kogakuin.ac.jp	25	学内のみ
SMTPSサーバ	sin.cc.kogakuin.ac.jp	465	SSL/TLSを使用 パスワード認証あり
SMTPサーバ submission	sin.cc.kogakuin.ac.jp	587	STARTTLSを使用 パスワード認証あり

※submissionポート(587)を利用したメール送信が可能になりました。

【2】アカウントの追加手順

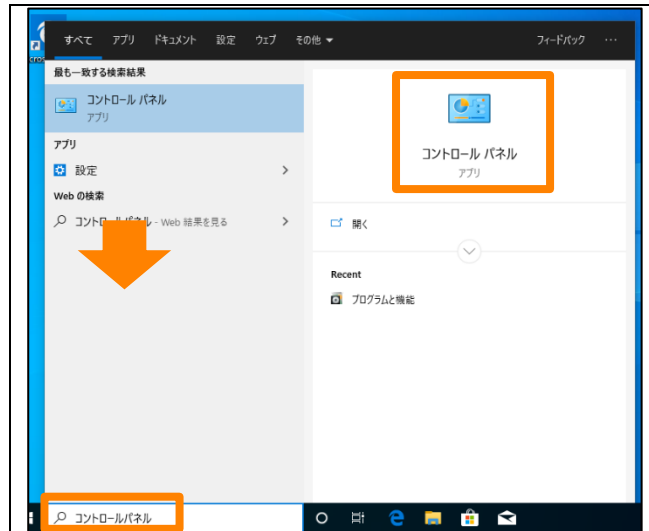
教育用メール(ns)、または研究用メール(sin)用のアカウントを追加する手順です。

学外のネットワークを利用する方

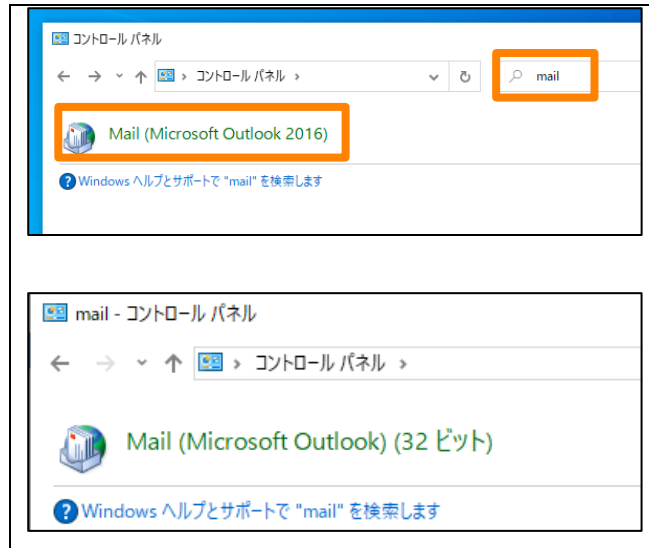
手順【2】の通り設定したはずなのにメール送信が失敗する場合は、手順【4】を参照し設定変更を試してみてください。

2-01. Windowsの検索窓から[コントロールパネル]を検索して起動させます。

既にOutlookを利用して別アカウントを追加する場合もこの手順を進めてください。



2-02. コントロールパネルの検索窓から[mail]と検索します。[Mail(Microsoft Outlook 2016)]や[Mail(Microsoft Outlook)(32ビット)]が検索結果として表示されるのでクリックします。



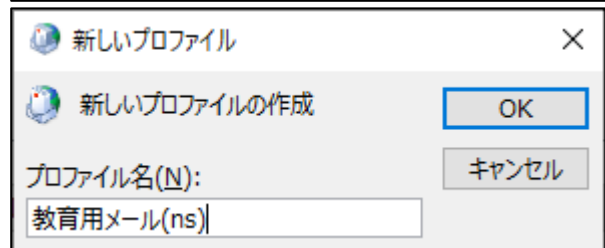
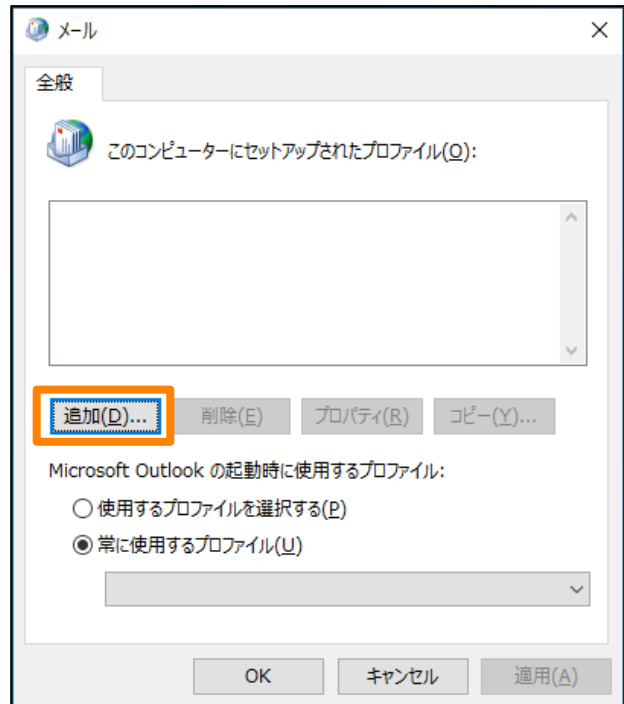
2-03. 初めてアカウントを追加する場合はこちらの画面が表示されますので[追加]をクリックします。

わかりやすい名前をつけて[OK]をクリックします。手順2-04へ進んでください。

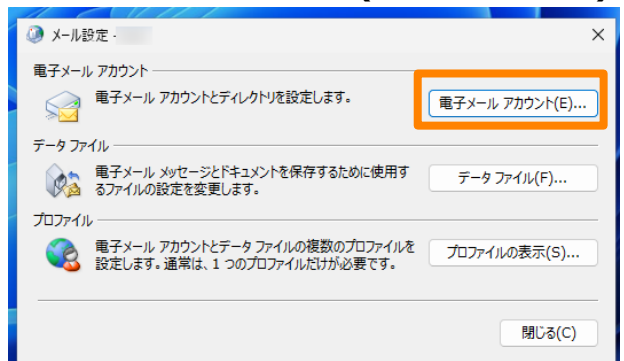
既にOutlookを利用中の場合はこちらの画面が表示されます。別アカウントを追加するときは[電子メールアカウント]をクリックします。

こちらの画面が表示されますので[新規]をクリックします。手順2-04へ進んでください。

初めてアカウント追加する場合



Outlookを利用中の場合(別アカウント追加)



2-04. **「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)」**を選択し**「次へ」**をクリックします。

The screenshot shows the 'アカウントの追加' (Add Account) window. The title bar says 'アカウントの追加' and the subtitle is '自動アカウントセットアップ' (Automatic Account Setup). Below the subtitle, it says 'アカウントを手動で設定するか、または他の種類のサーバーに接続します。' (Set up the account manually or connect to another type of server). There are two radio buttons: '電子メール アカウント(A)' (Email Account) and '自分で電子メールやその他のサービスの設定をする (手動設定)(M)' (Manually set up email or other services). The second option is selected and highlighted with an orange box. Below the radio buttons, there are input fields for '名前(N):' (Name), '電子メール アドレス(E):' (Email Address), 'パスワード(P):' (Password), and 'パスワードの確認入力(T):' (Confirm Password). The bottom of the window has three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

2-05. **「POPまたはIMAP」**を選択し**「次へ」**をクリックします。

The screenshot shows the 'アカウントの追加' (Add Account) window. The title bar says 'アカウントの追加' and the subtitle is 'アカウント タイプの選択' (Select Account Type). There are three radio buttons: 'Office 365(E)' (Office 365), 'POP または IMAP(P)' (POP or IMAP), and 'Exchange ActiveSync(A)' (Exchange ActiveSync). The second option is selected and highlighted with an orange box. Below the radio buttons, there are input fields for 'メール アドレス(E):' (Email Address) and 'パスワード(P):' (Password). The bottom of the window has four buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), 'キャンセル' (Cancel), and 'ヘルプ' (Help).

2-06. 以下の通り入力してください。

※POP3を利用するか、IMAPを利用するかは、【3】POP/IMAPのメリットと選択について をご一読ください。

【 POP3の設定手順 】

※IMAPを利用される方は(2-12～2-17)を参照してください。

<ユーザー情報>

名前：

送信者名として表示されます

電子メールアドレス：

教育用メール(ns)、または研究用メール(sin)

<サーバー情報>

アカウントの種類：

POP3

受信メールサーバー：

以下のいずれかを入力します。

教育用メール(ns)を利用する場合は

mail.ns.kogakuin.ac.jp

研究用メール(sin)を利用する場合は

sin.cc.kogakuin.ac.jp

送信メールサーバー：

受信メールサーバーと同じ。

<メールサーバーへのログオン情報>

アカウント名：

統合認証アカウントのID

パスワード：

統合認証アカウントのパスワード

入力が終わりましたら【**詳細設定**】をクリックしてください。

アカウントの追加

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(V):
電子メール アドレス(E):

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(I):
送信メール サーバー (SMTP)(O):
メール サーバーへのログオン情報
アカウント名(U):
パスワード(P):
☒ パスワードを保存する(R)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
アカウント設定のテスト(T)
☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)
新しいメッセージの配信先:
☒ 新しい Outlook データファイル(W)
☐ 既存の Outlook データファイル(X)
参照(S)

☐ メール サーバーがセキュリティで保護された/パスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

2-07. **[送信サーバー]**のタブを開き、**[送信サーバー(SMTP)には認証が必要]**に**[✓]**を入れ、**[受信メールサーバーと同じ設定を使用する]**を選択します。

インターネット電子メール設定

全般 **送信サーバー** 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☒ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☐ 次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

☐ メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする(I)

OK キャンセル

2-08. **[詳細設定]**タブの設定項目は以下の通りです。

受信サーバー(POP3) :

995

このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要 :

✓

送信サーバー(SMTP) :

465

使用する暗号化接続の種類 :

SSL

設定が完了しましたら**[OK]**をクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー **詳細設定**

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 995 標準設定(D)

☒ このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): 465

使用する暗号化接続の種類(C): SSL

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1 分

配信

☒ サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

☒ サーバーから削除する(R) 14 日後

☐ [削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

2-09. **次へ**をクリックします。

アカウント設定のテスト(T)

☒ **次へ** をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

新しいメッセージの配信先:

☒ 新しい Outlook データ ファイル(W)

☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

2-10. 送受信のテストが行われます。どちらも状況欄が**完了**であれば問題ありません。**閉じる**をクリックしてください。

2-12～2-16の手順は2-07でIMAPを選択した方の設定手順です。POP3を選択した方は不要です。

テスト アカウント設定

すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続行してください。

中止(S)

閉じる(C)

タスク

エラー

タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログイン	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

2-11. 以下の通り入力してください。

※POP3を利用するか、IMAPを利用するかは、【3】POP/IMAPのメリットと選択について をご一読ください。

【 IMAPの設定手順 】

※POP3で設定を行った方は(2-12～2-16)の手順は不要です。

<ユーザー情報>

名前 :

送信者名として表示されます

電子メールアドレス :

教育用メール(ns)、または研究用メール(sin)

<サーバー情報>

アカウントの種類 :

IMAP

受信メールサーバー :

以下のいずれかを入力します。

教育用メール(ns)を利用する場合は

mail.ns.kogakuin.ac.jp

研究用メール(sin)を利用する場合は

sin.cc.kogakuin.ac.jp

送信メールサーバー :

受信メールサーバーと同じ。

<メールサーバーへのログオン情報>

アカウント名 :

統合認証アカウントのID

パスワード :

統合認証IDのパスワード

入力が終わりましたら【詳細設定】をクリックしてください。

2-12. **「送信サーバー」**のタブを開き、**「送信サーバー(SMTP)には認証が必要」**に**「✓」**を入れ、**「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」**を選択します。

インターネット電子メール設定

全般 **送信サーバー** 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☒ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☐ 次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

☐ メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする(I)

OK キャンセル

2-13. **「詳細設定」**タブの設定項目は以下の通りです。

受信サーバー(IMAP) :

993

使用する暗号化接続の種類 :

SSL

送信サーバー(SMTP) :

465

使用する暗号化接続の種類 :

SSL

設定が完了したら**「OK」**をクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー **詳細設定**

サーバーのポート番号

受信サーバー (IMAP)(I): 標準設定(D)

使用する暗号化接続の種類(E):

送信サーバー (SMTP)(O):

使用する暗号化接続の種類(C):

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1 分

フォルダー

ルート フォルダーのパス(F):

送信済みアイテム

☐ 送信済みアイテムのコピーを保存しない(D)

削除済みアイテム

☐ アイテムを削除対象としてマークするが、自動的に移動しない(K)

削除対象としてマークされたアイテムは、メールボックス内のアイテムが消去されたときに完全に削除されます。

☒ オンライン中にフォルダーを切り替えたらアイテムを消去する(P)

OK キャンセル

2-14. **次へ**をクリックします。

アカウント設定のテスト(T)

☒ **次へ** をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

新しいメッセージの配信先:

☒ 新しい Outlook データ ファイル(W)

☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

2-15. 送受信のテストが行われます。どちらも状況欄が**完了**であれば問題ありません。**閉じる**をクリックしてください。

以上で、アカウントの追加が完了しました。

テスト アカウント設定

すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続行してください。

中止(S)

閉じる(C)

タスク

エラー

タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (IMAP) へのログイン	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

【3】POP/IMAPのメリットと選択について

POPのメリット

POPのメリットは、サーバーからメールを受信してしまえば、インターネットに接続していなくてもいつでもメールを読むことができ、大量のメールでもメールを保存するパソコンの容量の許す限り保存しておけることです。

- メールがローカルのパソコンへ保存されるため、例えばインターネット接続していない状態でも過去に受信したメールを読むことが出来ます。
- インターネット接続が必要なのはメールの送受信を行う時のみです。
- メールを保存するために必要なサーバーのディスク容量の心配がありません。

IMAPのメリット

IMAPのメリットは、サーバー上に保存しているメールを大学・自宅などの複数の場所からアクセスして読むことが出来る点です。パソコンでメールを保管していてもパソコンが壊れてしまえば全て読めなくなります。メールのバックアップ運用が苦手な方はサーバー上で保管した方が大切なメールを失う可能性が低くなります。

- メールの実態はサーバー上で管理されるため、複数の異なる場所から同じメールボックスへアクセスできます。
- パソコンが壊れても、メールがなくなる心配はありません。
- サーバー上に作成したフォルダ構成は、IMAPであればどこでも同じフォルダ構成でアクセスできます。

POPを選択するケース

- メールを送受信を一カ所から(大学のパソコンにインストールされているOutlook等)一つのクライアントのみで行う事を想定している場合
- インターネット接続できないことが想定できる場合や、インターネット接続ができない環境であっても過去のメール確認が必要になる場合
- 大量のメールを管理する必要がある、サーバーのディスク容量では足りない場合

IMAPを選択するケース

- サーバー上にメールを保管し、複数の場所や、複数のメールクライアント・端末からメールへアクセスする運用を想定している場合
- インターネット接続が常時行える環境の場合
- サーバーのディスク容量で間に合う場合
- パソコンの故障やデータのバックアップを懸念している場合

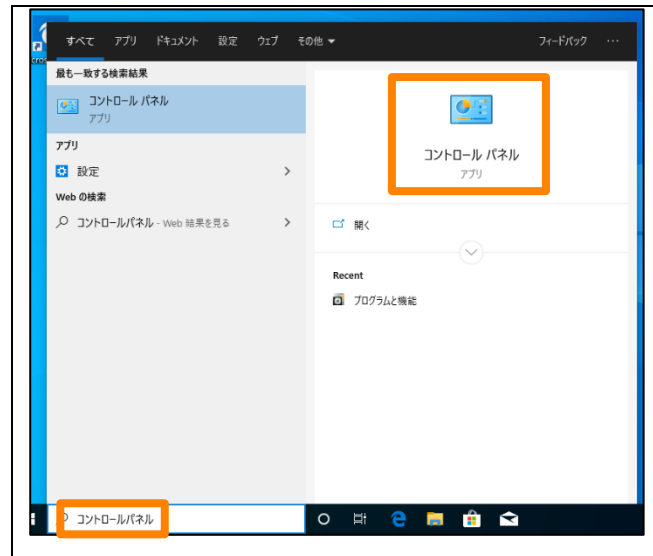
【4】アカウントの設定変更手順(submission利用)

submissionポートを利用する設定変更手順となります。手順【2】で設定したにもかかわらずメール送信が失敗する場合はこの手順で設定を変更してください。

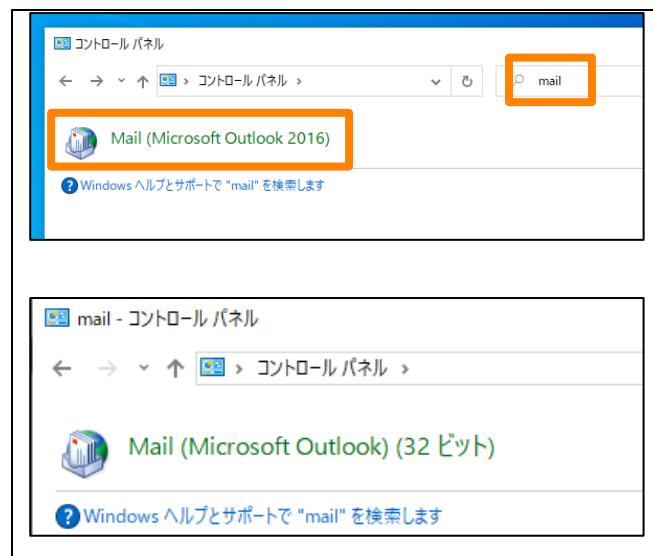
学外のネットワークを利用する方

手順【2】で設定したにもかかわらずメール送信が失敗する場合はこの手順で設定変更を試してみてください。

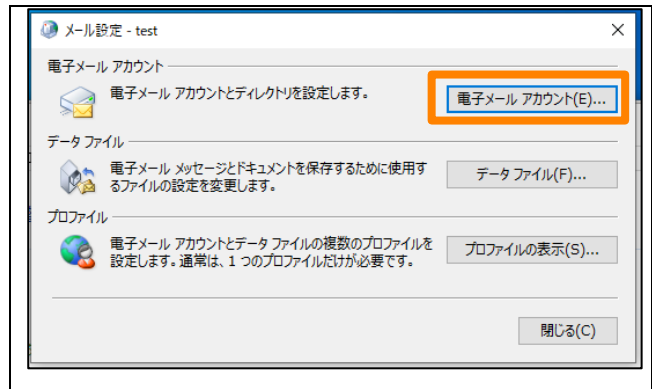
4-01. Windowsの検索窓から[コントロールパネル]を検索して起動させます。



4-02. コントロールパネルの検索窓から[mail]と検索します。[Mail(Microsoft Outlook 2016)]や[Mail(Microsoft Outlook)(32ビット)]が検索結果として表示されるのでクリックします。



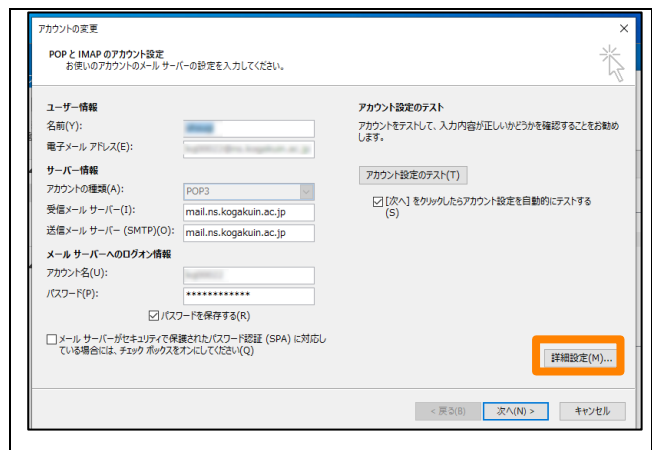
4-03. **電子メールアカウント**をクリックします。



4-04. **電子メール**タブを選択し、設定変更を行いたいアカウントを選択した状態で**変更**をクリックします。



4-05. **アカウントの変更**画面になります。**詳細設定**をクリックします。



4-06. **[詳細設定]**タブを選択し、送信サーバ(SMTP)を**[587]**、使用する暗号化接続の種類を**[STARTTLS]**に変更し**[OK]**をクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバ 詳細設定

サーバーのポート番号

受信サーバ (IMAP)(I): 993 標準設定(D)

使用する暗号化接続の種類 (E): SSL/TLS

送信サーバ (SMTP)(O): 587

使用する暗号化接続の種類 (C): STARTTLS

サーバーのタイムアウト (T)

短い 長い 1 分

フォルダー

ルート フォルダーのパス (F):

送信済みアイテム

☐ 送信済みアイテムのコピーを保存しない (D)

削除済みアイテム

☐ アイテムを削除対象としてマークするが、自動的には移動しない (K)

削除対象としてマークされたアイテムは、メールボックス内のアイテムが消去されたときに完全に削除されます。

☒ オンライン中にフォルダーを切り替えたアイテムを消去する (P)

OK キャンセル

4-07. **[次へ]**と進めてください。送受信のテストが行われます。どちらも状況欄が**[完了]**であれば問題ありません。**[閉じる]**をクリックしてください。

アカウントの変更

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報

名前 (N):

電子メール アドレス (E):

サーバー情報

アカウントの種類 (A): POP3

受信メール サーバー (I): mail.ns.kogakuin.ac.jp

送信メール サーバー (SMTP)(O): mail.ns.kogakuin.ac.jp

メールサーバーへのログイン情報

アカウント名 (U):

パスワード (P):

☒ パスワードを保存する (R)

アカウント設定のテスト

アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

アカウント設定のテスト (T)

☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください (Q)

詳細設定 (M)...

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル